

健康づくりの指標（数値目標）

合併前の旧高松市の現状値の目標達成状況
 目標達成， 基準値より改善， 現状維持， × 基準値より悪化

1 こころの豊かさ

目標項目	基準値		出典	現状値					現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向
	H13			14	15	16	17(旧高松)	17(新高松)		
1-1 趣味や楽しみを持って生活している人の割合の増加	男性(18歳以上)	80.9%	c				82.1%	81.1%		90%以上
	女性(18歳以上)	83.4%					82.1%	82.6%		
1-2 常になるべく外出する機会を持つようにしている人の割合の増加	男性(60歳以上)	42.3%	c				39.5%	39.6%	×	50%以上
	女性(60歳以上)	37.7%					41.3%	41.5%		
1-3 常に食事の場を楽しむようにしている人の割合の増加	男性(18歳以上)	33.8%	c				31.2%	31.7%	×	増やす
	女性(18歳以上)	39.0%					45.5%	45.6%		
1-4 何らかの地域活動(集まり,ボランティア活動,趣味のサークル等)に参加している人の割合の増加	男性(70歳以上)	44.8%	c				34.2%	35.9%	×	増やす
	女性(70歳以上)	39.3%					36.8%	37.2%	×	
1-5 健康に関する学習や情報交換ができるグループ活動に参加している人の割合の増加	男性(18歳以上)	5.3%	c				4.2%	4.5%	×	増やす
	女性(18歳以上)	8.0%					9.9%	8.9%		
1-6 最近1か月間にストレスを感じた人の割合の減少	男性(18歳以上)	64.5%	c				78.7%	77.0%	×	60%以下
	女性(18歳以上)	74.1%					81.9%	82.1%	×	
1-7 休養が十分にとれていない人の割合の減少	男性(30~49歳)	56.9%	c				28.8%	30.0%		50%以下
	女性(18~49歳)	43.0%					24.7%	25.1%		
1-8 毎日7~8時間の睡眠がとれていない人の割合の減少	男性(18歳以上)	20.8%	c				26.4%	25.1%	×	15%以下
	女性(18歳以上)	20.7%					29.1%	29.3%	×	
1-9 自分の健康をよりよくするための知識を十分持っていると思う人の割合の増加	男性(18歳以上)	13.0%	c				12.1%	12.6%	×	35%以上
	女性(18歳以上)	16.2%					14.8%	14.6%	×	
1-10 自分の健康をよりよくすることを普段から実践している人の割合の増加	男性(18歳以上)	60.1%	c				60.3%	60.0%		80%以上
	女性(18歳以上)	69.5%					69.5%	70.0%		
1-11 こころの健康について学ぶ人の割合の増加	男性(18歳以上)	3.0%	c				5.9%	5.6%		増やす
	女性(18歳以上)	4.6%					5.1%	4.9%		
削除 メンタルヘルス相談員の増加		—								増やす
削除 こころの相談窓口の増加		—								増やす
1-12 福祉のまちづくり適合証交付件数の増加		21件	I	36件	45件	51件	55件			増やす
1-13 自殺者の数の減少	総数 71人(H11年)		e	72人	78人	75人			×	減らす
	壮年期男性(40~59歳) 26人			32人	26人	20人				
	人口10万人対男性 25.8人			31.5人	36.4人	32.5人			×	
	女性 12.7人			12.1人	11.0人	13.3人				

	国	
	基準値(H12)	目標値(H22)
成人	56.3%	70%以上
全国平均	54.6%	49%以下
全国数	31,755人	22,000人以下

2 運動

目標項目	基準値		出典	現状値					現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向
	H13			14	15	16	17(旧高松)	17(新高松)		
2-1 常に意識して体を動かしたり,運動する人の割合の増加	男性(18歳以上)	31.1%	c				31.8%	32.2%		10%増
	女性(18歳以上)	30.2%					32.5%	31.2%		
2-2 定期的に運動(息が少し弾む程度の30分以上のもの)をしていない人の割合の減少	男性(30~49歳)	72.2%	c				64.9%	66.9%		20%減
	女性(30~49歳)	73.3%					63.0%	67.3%		
2-3 日常生活における平均歩数の増加	男性(20歳以上)	6,703歩	b			9,312歩				+1000歩以上
	女性(20歳以上)	5,822歩				7,649歩				
	男性(70歳以上)	3,412歩				3,784歩				
	女性(70歳以上)	3,942歩				3,590歩			×	

	国	
	基準値(H12)	目標値(H22)
男性	28.6%	39%以上
女性	24.6%	35%以上
男性(20歳以上)	8,202歩	男性 9,200歩以上
女性(20歳以上)	7,282歩	女性 8,300歩以上
男性(70歳以上)	5,436歩	男性 6,700歩以上
女性(70歳以上)	4,604歩	女性 5,900歩以上

3 食生活

目標項目	基準値		出典	現状値				現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向	
	H13			14	15	16	17(旧高松)			17(新高松)
栄養状態・栄養素摂取										
3-1	1日当たりの脂肪エネルギー比率の減少	成人(20～40歳) 26.3%	b			24.7%				25%以下
3-2	1日当たりの食塩の平均摂取量の減少	成人(20歳以上) 13.3g	b			11.6g				10g未満
3-3	1日当たりの野菜の平均摂取量の増加	成人(20歳以上) 283.8g	b			214g			x	350g以上
削除	1日当たりの食物繊維の平均摂取量の増加	成人(20歳以上) 14.7g	b			12.2g				20g以上
3-4	成人の1日当たりのカルシウムに富む食品の平均摂取量の増加	牛乳・乳製品 106.5g	b			116.5g				130g以上
		女性(13～19歳) 79g								
		豆類 74g				61.6g			x	100g以上
		緑黄色野菜 76.5g				64.7g			x	120g以上
知識・態度・行動										
3-5	朝食の欠食者の割合の減少									
追加	朝食の欠食が見られる幼児	幼児(1歳6ヵ月児) (3歳児)	n						7.9%	減らす
追加	朝食をほぼ毎日食べない児童	小学生 中学生 高校生	o s u			1.8%				減らす
	朝食をほぼ毎日食べない成人	男性(18～29歳) 31.5% 男性(30～39歳) 22.7% 女性(18～29歳) 15.2%	c			20.4%	20.7%			15%以下
追加	間食の時間を決めている家庭の割合の増加	幼児(1歳6ヵ月児) (3歳児)	n						62.5%	70%以上
追加	家族そろって食事をとる家庭の割合の増加	幼児(1歳6ヵ月児)朝食 夕食 (3歳児)朝食 夕食	n						28.2%	30%以上
									47.4%	50%以上
									27.7%	30%以上
									49.7%	50%以上
追加	1日に1回以上家族と一緒に食事をする人の割合の増加	総数 15～19歳	q			75.4%				80%以上
						60.0%				70%以上
追加	主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合の増加	男性 女性	q			59.7%				70%以上
						63.8%				
3-6	常に栄養のバランスや食事の量を考えて食べている人の割合の増加	男性(18歳以上) 33.1% 女性(18歳以上) 47.7%	c			37.1%	36.1%			増やす
3-7	外食したり食品を選ぶとき栄養成分表示を参考にしている人の割合の増加	男性(18歳以上) 36.9% 女性(18歳以上) 52.3%	c			36.1%	36.7%			増やす
追加	食事バランスガイドを参考に食生活を送っている人の割合の増加	高校生 男性(20歳以上) 女性(20歳以上)	r						1.6%	増やす
									14.9%	50%以上
									32.2%	
追加	食育に関心を持っている人の割合の増加	高校生 男性(20歳以上) 女性(20歳以上)	r						30.1%	増やす
									66.0%	90%以上
									84.7%	
削除	食べ物をよく噛むようにしている人の割合の増加	成人(20歳以上) 76.5%	a			20.60%				増やす
環境整備										
3-8	ヘルシーメニューの提供および利用の促進									
	健康づくり協力店のうち、メニューに栄養成分を表示している飲食店等の数の増加	H14 2件		2件	13件	16件	27件			増やす
追加	健康づくり協力店の登録数の増加			7件	20件	23件	41件			増やす
追加	健康づくり協力店で情報提供を実施している店の増加			7件	18件	21件	39件			増やす
削除	1日30品目とるようにしている人の割合の増加	成人(20歳以上) 48.0%	a			24.5%				増やす
追加	食育を推進するボランティア団体の増加	食生活改善推進員 その他	—			140人	147人		573人 今後、調査	増やす
追加	保育計画に連動した食育計画を策定している保育所の割合の増加		—							増やす
追加	学校給食での地場特産品の利用率の増加		t			37.2%				40.0%
追加	地場農産物を利用した教室等の開催数の増加	地場産物を利用した料理教室 地場農産物の収穫等の体験	t			4回	9回			9回(H20)
						1回	2回			年2回(H20)
追加	地場農産物が利用できる施設の増加	アンテナショップ 産地直売施設	t						1店舗	3店舗(H20)
						11か所	11か所			13か所(H20)

国		
基準値(H12)	目標値(H22)	
20～40歳代	27.1%	25%以下
成人	13.5g	10g未満
成人	292g	350g以上
牛乳・乳製品	107g	130g以上
豆類	76g	100g以上
緑黄色野菜	98g	120g以上
1歳6ヵ月～2歳未満	6.1%(*1)	
3歳6ヵ月～4歳未満	9.2%(*1)	
小学生	4.1%(*2)	0%
中学・高校生	6.0%	0%
男性(20歳代)	32.9%	15%以下
男性(30歳代)	20.5%	15%以下
総数	80.2%(県)	
15～19歳	70.7%(県)	
男性	62.5%(県)	
女性	69.5%(県)	
男性	20.1%	30%以上
女性	41.0%	55%以上
		60%以上
69.8%(*3)		90%以上
—		—
		20%増
58.7%(*4)		

4 歯の健康

目標項目	基準値		出典	現状値					現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向
	H13			14	15	16	17(旧高松)	17(新高松)		
4-1 (自分の)歯や口の状態にほぼ満足している人の割合の増加	男性(18歳以上)	31.3%	c				28.1%	28.0%	×	50%以上
	女性(18歳以上)	30.5%					32.4%	32.7%		
4-2 う歯のない幼児の割合の増加	3歳児健診	55.8%	f	59.7%	58.6%	66.0%	65.5%			80%以上
4-3 歯間ブラシなどでていねいに歯を磨く人の割合の増加	男性(18歳以上)	33.8%	c				27.1%	27.6%	×	50%以上
	女性(18歳以上)	41.5%					38.0%	37.5%		
4-4 歯や歯ぐきの健康のためにタバコを吸わないようにしている人の割合の増加(歯周病)	男性(18~49歳)	16.3%	c				19.7%	22.9%		増やす
	女性(18~49歳)	26.5%					30.6%	30.8%		
4-5 よく噛んで食べる人の割合の増加	男性(18歳以上)	16.6%	c				15.8%	16.8%		増やす
	女性(18歳以上)	25.2%					24.5%	24.7%		
4-6 定期的に歯科検診等を受ける人の割合の増加	男性(18歳以上)	9.9%	c				10.5%	10.9%		20%以上
	女性(18歳以上)	11.1%					17.4%	17.1%		
4-7 成人歯科健康診査受診率の増加	40・50歳の男女	8.3%	f	12.0%	14.4%	10.0%	12.2%			増やす
4-8 歯科健康教育・健康相談の参加者の増加	40歳以上の男女		f						×	10%増
	歯科健康教育	2,192人		1,942人	2,891人	2,262人	2,014人			
	歯科健康相談	318人		228人	151人	240人	282人			
	歯の健康教室1回平均	10.6人		11.0人	8.5人	6.4人	8.0人			
4-9 歯石をとってもらう人の割合の増加	男性(18歳以上)	12.4%	c				14.3%	14.4%		20%以上
	女性(18歳以上)	17.3%					24.8%	23.0%		
4-10 歯肉の炎症を有する中学生・高校生の割合の減少	中学生 男子	25.79%	d	33.95%	31.21%	34.95%	31.47%		×	減らす
	女子	18.69%		24.51%	23.04%	23.92%	23.81%			
	高校生 男子	10.40%		4.84%	4.33%	5.59%	5.37%			
	女子	6.25%		3.18%	2.68%	4.03%	3.79%			
4-11 80歳の方の歯の平均保有本数の増加	男女(80歳以上)	13.6本	h			8.0本				20本以上
4-12 60歳で24本以上自分の歯を有する者の割合の増加	H18から,保健センターの成人歯科健診(60歳)のデータを使用					57.1%				増やす
4-13 80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合の増加	H18から,保健センターの成人歯科健診(70歳)のデータを使用					33.3%				〃

国		
基準値(H12)	目標値(H22)	
3歳児健診	59.5%	80%以上
40歳(34~44歳)	19.3%	50%以上
50歳(45~54歳)	17.8%	50%以上
60歳(55~64歳)	16.4%	30%以上
60歳(55~64歳)	15.9%	30%以上
	44.1%	50%以上
	11.5%	20%以上

5 安全(事故の予防)

目標項目	基準値		出典	現状値					現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向
	H13			14	15	16	17(旧高松)	17(新高松)		
5-1 高松市における交通事故の減少	人口10万人対死者数	8.1	i	4.2	6.3	7.8	3.6		×	減らす
	(H12年) 傷者数	1712.4		1549.6	1844.5	2010	2106.3			
追加 飲酒事故の発生をなくす			i	63件	78件	94件	102件		×	なくす
5-2 交通安全教室の開催の増加	交通安全教室の開催	283回	j	321回	308回	288回	287回			増やす
5-3 応急手当の実技を学ぶ機会の増加	救命講習会	68回	k			75回	99回			増やす
	(H12年) 受講者数	1,612人				1,722人	2,197人			
追加 安全に歩行可能な高齢者の割合の増加	開眼片足立ち20秒以上できる者の割合		w				64.2%			増やす
追加 転倒する高齢者の割合の減少	転倒経験者の割合		w	18.3%		20.2%	19.0%			減らす

国		
基準値(H12)	目標値(H22)	
—		—
—		—
—		—

6 たばこ

目標項目	基準値		現状値						現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向 H23
	H13	出典	14	15	16	17(旧高松)	17(新高松)	18		
6-1 たばこが原因の1つと考えられる疾病による死亡率の減少	年齢調整死亡率(人口10万人対)									
	がん	男性 219.1	e	205.9	197.9					減らす
		女性 105.3		114.0	93.8					
	心疾患	男性 82.0		98.9	91.7				×	減らす
		女性 56.6		52.0	49.3					
脳血管疾患	男性 72.9	58.3		49.3				減らす		
	女性 41.5	41.1	34.1							
6-2 たばこを吸う人の割合の減少	男性(18歳以上)	45.6%	c				38.0%	36.6%	×	減らす
	女性(18歳以上)	8.7%					10.9%	10.1%		
6-3 未成年者の喫煙をなくす	男性(中学1年生)	3.5% H13	m			6.6%			×	なくす
	男性(高校3年生)	15.7% H12			11.8%					
	女性(中学1年生)	3.0% H13				1.8%				
	女性(高校3年生)	6.0% H12			5.0%					
削除	公共の場、職場での空間分煙の実施	—	—							全施設、全職場で実施
削除	禁煙希望者への禁煙支援プログラムの実施	—	—		4人	0人				個別健康教育を実施
6-4 たばこの害に関して学ぶ人の割合の増加	男性(18歳以上)	4.6%	c				5.1%	4.8%		増やす
	女性(18歳以上)	2.9%					4.0%	4.2%		

国	
基準値(H12)	目標値(H22)
男性 43.3% H16	
女性 12.0% H16	
男性(中学1年生) 7.5%	0%
男性(高校3年生) 36.9%	0%
女性(中学1年生) 3.8%	0%
女性(高校3年生) 15.6%	0%
—	—
—	—

7 アルコール(飲酒)

目標項目	基準値		現状値						現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向 H23
	H13	出典	14	15	16	17(旧高松)	17(新高松)	18		
7-1 ほぼ毎日飲酒している人の割合の減少(休肝日の必要性)	男性(18歳以上)	36.6%	c				35.0%	34.0%	×	減らす
	女性(18歳以上)	9.2%					10.3%	10.1%		
7-2 1日(1回)に、日本酒に換算して2合以上飲んでいる人の割合の減少(適度な飲酒)	男性(18歳以上)	12.0%	c				13.8%	10.5%	×	減らす
	女性(18歳以上)	2.1%					2.2%	1.4%		
7-3 未成年者の飲酒をなくす	男性(中学3年生)	33.5% H13	m			20.0%			×	なくす
	男性(高校3年生)	46.7% H12			43.4%					
	女性(中学3年生)	28.3% H13				15.5%				
	女性(高校3年生)	35.8% H12			39.7%					
7-4 アルコールの害について学ぶ人の割合の増加	男性(18歳以上)	3.6%	c				4.7%	4.4%		増やす
	女性(18歳以上)	2.9%					3.8%	3.8%		

国	
基準値(H12)	目標値(H22)
男性(中学3年生) 25.4%	0%
男性(高校3年生) 51.5%	0%
女性(中学3年生) 17.2%	0%
女性(高校3年生) 35.9%	0%

8 生活習慣病

目標項目	基準値		現状値						現状値の目標達成状況	目標値・目標の方向 H23	
	H13	出典	14	15	16	17(旧高松)	17(新高松)	18			
8-1 健診において糖尿病(疑いを含む)を指摘された者の割合の減少	基本健康診査										
	男性(40~64歳)	17.9%	g	19.1%	19.8%	20.1%	21.1%		x	減らす	
	男性(65歳~)	18.1%		19.8%	21.2%	22.0%	23.3%		x		
	女性(40~64歳)	7.5%		7.9%	8.4%	8.4%	9.9%		x		
女性(65歳~)	11.4%	13.1%		13.7%	14.0%	16.1%		x			
追加 健診において高血圧を指摘された者の割合の減少(最高血圧140mmHg以上または最低血圧90mmHg以上の者)	基本健康診査										
	男性(40~64歳)	23.6%	g	24.8%	25.9%	26.2%	26.5%		x	減らす	
	男性(65歳~)	25.7%		27.2%	28.3%	28.8%	28.9%		x		
	女性(40~64歳)	16.5%		17.8%	19.1%	18.4%	18.6%		x		
女性(65歳~)	28.5%	30.8%		31.5%	31.0%	32.1%		x			
8-2 健診において高脂血症を指摘された者の割合の減少(血清総コレステロール値220mg/DL以上の者)	基本健康診査										
	男性(40~64歳)	19.1%	g	18.5%	21.0%	19.3%	23.3%		x	減らす	
	男性(65歳~)	11.1%		10.6%	12.0%	11.1%	14.5%		x		
	女性(40~64歳)	32.6%		32.8%	36.6%	33.7%	35.5%		x		
女性(65歳~)	28.6%	27.5%		28.7%	27.3%	28.4%					
8-3 骨粗しょう症の健康教育・健康相談の参加者の増加	集団健康教育	862人	f	888人	640人	358人	603人		x	10%増	
	病態別栄養教室	228人									
	健康相談	1,576人		2,257人	1,762人	1,206人	1,753人				
	骨粗しょう症予防教室	1,576人				1,206人	1,203人				
削除 カルシウムの摂取量の充足率の増加	男性(15~19歳)	68%	b			77.6%				90%を超える	
	(40~49歳)	77%				81.2%	49.6%				
	女性(15~19歳)	65%				31.0%	55.7%				
	(20~29歳)	73%				77.6%	118.4%				
追加 カルシウムの充足率が80%以上の人の割合の増加	男性(13~49歳)		q			29.8%				30%以上	
	女性(15~49歳)					28.3%					
8-4 脳血管疾患による死亡率の減少【再掲】	人口10万人対 男性	72.9	e	58.3	49.3					減らす	
	(H11) 女性	41.5		41.1	34.1						
8-5 虚血性心疾患による死亡率の減少	人口10万人対 男性	18.5	v	17.3	25.3	21.6			x	減らす	
	(H11) 女性	17.4		17.9	19.0	13.2					
8-6 糖尿病による死亡率の減少	人口10万人対 男性	13.0	v	11.1	13.0	17.3			x	減らす	
	(H11) 女性	9.3		12.1	6.3	12.1			x		
8-7 がんによる死亡率の減少【再掲】	人口10万人対 男性	219.1	e	205.9	197.9					減らす	
	(H11年) 女性	105.3		114.0	93.8						
8-8 健康診断を受診する人の割合の増加(過去1年間の職場・学校・地域の健康診断・人間ドック)	男性(18歳以上)	76.2%	c			81.5%	80.8%			80%以上	
	女性(18歳以上)	56.9%					73.0%	72.1%			70%以上
8-9 基本健康診査の受診率の増加	40歳以上	44.1%	g	46.0%	47.8%	47.5%	47.0%			増やす	
8-10 健診後の保健指導の徹底(高脂血症の要指導者に対する指導)	指導人員	3,671人(16.7%)	H12	g		2,087人(13.2%)	1,831人(10.7%)		指導体制の変更により比較不能	増やす	
追加 がん検診の受診率の増加(平成17年健康づくりに関する市民意識調査から)	男性(18歳以上)		c			32.6%	33.7%			増やす	
	女性(18歳以上)					44.5%	42.6%				
8-11 がん検診の受診率の増加(保健センターで実施した検診)	胃がん検診	2.8%	g	2.6%	2.7%	2.5%	2.6%		x	増やす	
	大腸がん検診	5.0%		4.5%	4.8%	4.4%	4.9%				
	肺がん検診	11.5%		10.5%	10.7%	9.8%	9.1%		x		
	子宮がん検診	13.4%		15.4%	16.6%	14.3%	14.2%				
	乳がん検診	15.8%		17.1%	18.6%	15.7%	15.6%				
	前立腺がん検診	21.2%		22.8%	25.6%	25.9%	26.0%				
8-12 適正な体重(肥満や極端なやせでないもの)を維持しようと常に実践する人の割合の増加	男性(18歳以上)	32.3%	c			39.5%	38.5%			増やす	
	女性(18歳以上)	43.5%				48.7%	47.4%				
	成人肥満者(BMI 25.0)の割合の減少 BMI = 体重(kg) / [身長(m) × 身長(m)]	男性(30~69歳)	27.1%	c			31.7%	31.5%		x	15%以下
	女性(40~69歳)	17.7%				17.5%	18.0%				
やせ(BMI < 18.5)の人の割合の減少	女性(18~29歳)	20.8%	c			36.8%	32.0%		x	15%以下	
肥満傾向の児童生徒の割合の減少 村田式肥満度判定による標準値から+20%以上の者	小学生 男子11歳	14.21%	d	15.17%	13.44%	14.46%	12.69%			減らす	
	女子11歳	10.41%		11.59%	10.08%	9.50%	7.52%				
	中学生 男子14歳	10.92%		11.30%	11.03%	9.37%	10.77%				
	女子14歳	10.69%		12.89%	12.06%	11.91%	9.03%				
追加 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を知っている人の割合の増加	高校生		r					11.4%		増やす	
	男性(20歳以上)							44.7%		80%以上	
	女性(20歳以上)							49.2%			

国		
基準値(H12)	目標値(H22)	
男性(13~49歳)	30.4%(県)	
女性(13~49歳)	33.5%(県)	
胃がん検診	1,401万人	2,100万人以上
大腸がん検診	1,231万人	1,850万人以上
肺がん検診	1,023万人	1,540万人以上
子宮がん検診	1,241万人	1,860万人以上
乳がん検診	1,064万人	1,600万人以上
男性(15歳以上)	62.6%	90%以上
女性(15歳以上)	80.1%	90%以上
男性(20~60歳代)	24.3%	15%以下
女性(40~60歳代)	25.2%	20%以下
女性(20歳代)	23.3%	15%以下
		80%以上

【基準値算出の出典資料】

- a：生活の質(QOL)と健康に関する調査（香川県）
 - b：平成11年県民栄養調査
 - c：平成13年健康づくりに関する市民意識調査（高松市）
 - d：平成13年度高松市学校保健統計
 - e：平成11年保健統計年報（香川県）
 - f：平成13年度版 保健・福祉の概要（保健事業実績）
 - g：老人保健事業統計資料（高松市）
 - h：平成13年香川県歯科受診者実態調査
 - i：高松市の交通事故資料
 - j：市交通安全対策事業実績
 - k：市消防局事業実績
 - l：平成13年12月末現在 香川県福祉のまちづくり条例適合証交付状況（高松市）
 - m：高松地域小・中・高等学校校外特別補導事業・平成12,13年度研究紀要（高松地域生徒指導推進協議会）
 - n：平成18年度幼児食生活調査
 - o：平成17年度小児生活習慣病予防検診・生活習慣アンケート
 - p：平成17年高松市学校保健統計
 - q：平成16年県民栄養調査
 - r：平成18年食と健康に関するアンケート
 - s：児童生徒の食生活等実態調査（平成16年）
 - t：高松市地産地消推進計画（平成18年）
 - u：高松第一高校「食生活アンケート」（平成18年7月）及び香川中央高校「健康・生活習慣についてのアンケート」（平成18年9月）
 - v：死因別年齢階級別集計（香川県健康福祉総務課）
 - w：転倒骨折予防教室（保健センター実施）
-
- *1：厚生労働省「平成17年度乳幼児栄養調査」
 - *2：日本スポーツ振興センター「児童生徒の食生活実態調査」（平成12年）
 - *3：内閣府「食育に関する特別世論調査」（平成17年9月）
 - *4：厚生労働省「保育所における食育に関する調査」（平成16年7月）